

**【人生の添乗員 (R)】からのワンポイントメッセージ**

**セカンドライフを迎える歳からのお金との付き合い方**

**発行者：牧野 F P 事務所合同会社 代表社員 牧野寿和**

**牧野 F P 事務所 公式サイト：<https://www.makino-fp.com>**

**<第 414 号の目次>**

**■ 今週のテーマ**

**セカンドライフを迎える歳からのお金との付き合い方**

**■ 「人生の添乗員 (R)」からのワンポイントメッセージ**

**■ 「人生の添乗員 (R)」牧野寿和のプロフィール**

**■ 編集後記**

それでは、

今週のテーマからはじめます。

\*:\*\*

**■ 今週のテーマ**

**セカンドライフを迎える歳からのお金との付き合い方**

\*:\*\*

私と同じ世代の方は、

サラリーマンの方であれば、  
60歳の定年を迎えて、  
今後、しばらくは勤めていた会社に再雇用してもらうか、  
違う企業に勤めるか、  
起業するか、

事業を経営している方も、  
今後のご自身のことや後継者のことなど  
検討する時期に入っているのか、  
まだ、リタイアをする時期ではないかもしれません。

また、パートで勤めていた方や、  
これからセカンドライフを迎える家庭の主婦の方も、

一家の働き頭が還暦を迎え、  
家計の収入に変化が起きることにより、

今までとは違う生活を送る方も増え、  
ご家庭が、大きな節目を迎える時期であることは、  
間違いないと思うのです。

そこで、今回は、  
私のまもなく18年目を迎えるFP業務経験や、  
また、これまでに、  
人生の師と仰げる方の生き方から学んだ、  
特に、セカンドライフでのお金との付き合い方を、  
考えてみました。

---

お金の価値と使い方は成人のころから決まる

---

私自身を振り返ってみても、  
知人や相談にみえる方の話を聞いても、

その方の育った環境によっても異なりますが、

お金の価値と使い方は、  
ほとんど親から小遣いが収入であり、  
中には、学生のアルバイトで、  
少額の収入を得ることができるようにもなった、

はたち、つまり成人するころには、  
ほぼ定まり始めているようです。

つまり、俗っぽい言い方ですが、

お金の使い方が、

- ・ しっかりしている
- ・ 貯める分のお金を決めて、実際に貯め始めている
- ・ 財布のひもがゆるい、無駄使いの認識はない
- ・ あるお金はすぐに全部使ってしまう

と、まだしっかりではありませんが、  
そのひとのお金の使い方が、  
定まっていくようです。

---

セカンドライフを迎えるころには揺るぎないものに

---

そして、成人後に、

- ・ 就職
- ・ 結婚
- ・ 子ども誕生
- ・ 家族の構成が定まる
- ・ 責任を持った行動が必要になる

人によっては、

- ・ 住宅購入
- ・ 転職
- ・ 起業

と、セカンドライフを迎えるころまでには、

勤め先の同僚、上司、取引先、  
配偶者やその親戚

と、出会う人ごとに、  
お金についても学ぶこともあったでしょう。

成人する前は、  
親や祖父母や親せきの人から教えてもらった、  
お金の知識が、  
成人後には視野も広くなり、

また、さまざまな経験を積み、

ご自身なりの揺るぎないお金の使い方が、  
定まったことでしょう。

---

## セカンドライフをどう過ごすか

---

お金の使い方は、  
個人の価値観の形成とともに、  
セカンドライフを迎えるには、  
根拠ある意見以外は他人の意見は受け入れられない、  
独自の概念が、不動のものになっているでしょう。

簡単な例として、

お金を貯める生活をしていた家庭は、  
それなりに貯まっている。

貯めていない家庭は、貯蓄はない。

ということです。

しかし、セカンドライフを迎えて、  
今までと生活を変えることは困難です。

例えば、  
あなたがセカンドライフを迎えるにあたり、  
これまでの家計の支出から  
毎月いくらぐらい減らすことができますか？

もし、減らすことができたなら、  
その生活を生涯ずっと続けることができますか？

私が、個人的に聞いた範囲内では、  
なかなか、生活費を減らしていくことは、  
難しいようです。

生活に使うお金はほとんど変わらないのです。

むしろ、医療費や介護の費用が必要になると、  
増えていく傾向にあります。

一番問題となるのは、  
主の収入が年金となると、  
家計収入が、

多くの家庭では減ることです。

収入が減っても、  
出ていくお金は今までと同じ。

この問題を克服しながら、  
セカンドライフを過ごすかが、  
課題となるのです。

---

お金との付き合い方は夫婦で決まる

---

さらに、問題は、

結婚当初は、  
夫婦が、同じようなお金の使い方ではない、  
ということです。

結婚するまでは、  
夫婦は違う環境生活をしてきたのですから、  
当然なことと言えば当然でしょう。

しかし、これまでの生活の経験で、  
お互いに妥協し合い、  
その家庭のお金の使い方を  
夫婦で身につけていくのです。

また、その使い方を子どもがみて、  
子どもも身につけていくことは、  
確かなことです。

ただ、このところは、  
気を付けていただきたいご家庭もあります。

すべてのご家庭に、  
当てはまることではありません。

しかし、念のためにお話しておきましょう。

夫婦が別々に給与の振込み口座を持っていて、  
お互いの収入を知らないまま、  
セカンドライフを迎えるご家庭は、

セカンドライフに入る前に、  
注意が、必要かもしれません。

年金中心の生活では、  
夫婦の収入を合算して、  
セカンドライフの生活が、  
維持できるご家庭が多いのです。

今まで、それぞれの財布を持ち、  
家計の財布がなかったご家庭で、

急に、家計の財布を作ることは困難が伴い、

最悪の場合、  
独りずつで住んだ方が良く、  
といった結論に成りかねないのです。

---

世の中の変化に対応するには

---

ことは、新型コロナウイルスの流行で、  
大変な年になりました。

これから先、  
セカンドライフを送っていくにしても、  
さまざまな困難に出会うかもしれません。

10年前に何が起こっていたのか、  
すぐには思い出せないでしょう。

10年先は、  
さんまの不漁とは言わず、  
さんまを食べる人がいなくなっているかもしれません。

重たくて不評になっているすいかを、  
一個（一玉）買う人もいなくなり、  
また、リンゴなども同じように、  
皮をむくのが面倒だといわれている果物などは、  
カットして、販売されているかもしれません。

10年後は、どのような社会になっているのか、  
想像もつきません。

しかし、お金はいつの時代でも、  
貯めていくことができます。

将来スーパーインフレが起こり、  
物価が高騰して、  
貯めたお金の価値は無くなる。

という方もいます。

10年後に、  
まだ、日本円のお札やコインはあるでしょう？

ひょっとすると、  
すでに流通の革命が起こっているかもしれません。

とはいっても、

お金を貯めておけば、

どのような時代になっても、

手持ちのお金のある人と  
ない人では、  
ある人の方が、

どんな時代になっても、  
生き抜くための、  
さまざまな選択肢を選ぶことが可能です。

その方法を、  
ひょっとすると、  
今まで育んできた、  
子どもからも、  
新しい世の中の知識として、  
教えてもらえるかもしれません。

お金の使い方は、  
今後生涯どのようにお金を使っていくのか、

その使い方の軸を、

セカンドライフに入る前に、





1982年～2001年 旅行会社に勤務。業務で世界各地を廻っていた時、日本の方と他国の方々のお金との付き合い方の違いを感じていた。そんな時渡米した折に、初めてファイナンシャルプランナーの存在を知り、日本でもこの業務の必要性を認識する。

2003年 牧野FP事務所を創業。  
2018年から牧野FP事務所合同会社を設立。

これまでに、延べ900件以上の様々な相談に対応。

現在は、相談者へのプランニングの助言と提案を主な業務とし、

相談者に、安心できる生活が送れるように、

丁寧な業務を心がけている。

<保有資格>

- ・NPO法人日本ファイナンシャルプランナーズ（FP）協会 CFP（R）認定者
- ・1級ファイナンシャル・プランニング技能士（資産設計提案業務）
- ・福祉住環境コーディネーター
- ・総合旅行業務取扱管理者 など

<取材協力>

メ～テレ（名古屋テレビ）「UP！」

<出版>

「銀行も不動産屋も絶対教えてくれない！  
頭金ゼロでムリなく家を買う方法」河出書房新社

<監修>

「空き家」に困ったら最初に読む本」河出書房新社

現在、相談を受けている方は、名古屋市内はもとより愛知、岐阜、三重県、ご紹介をいただいて、首都圏や関西にも足を延ばす機会が増えてきました。

「人生の添乗員（R）」は、どこまでも行きます。

他人を気にすることなく、  
相談者ご自身にとって

有益な提案を心がけています。

\*\*\*\*\*

■編集後記

\*\*\*\*\*

セカンドライフは、

現役の生活と特に家計支出の面では、

大きく変わることはありません。

歳を取ってから、  
お金の嫌われては大変です。

生涯、お金に好かれる習慣を身につけましょう。

【人生の添乗員(R)】からのワンポイントメッセージ

来週もご愛読のほど、  
よろしく願い申し上げます。

「人生の添乗員」「人生の行程表」は牧野寿和の登録商標です

---

■【人生の添乗員(R)】からのワンポイントメッセージ

発行：

牧野FP事務所合同会社 代表社員 牧野寿和  
〒467-0823 名古屋市瑞穂区津賀田町2-86

■登録・解除は、ご自身でお願いいたします。  
こちらから出来ます。

<http://www.mag2.com/m/0001575058.html>

■本メルマガに関するご意見・お問い合わせはこちらまで  
お願いいたします

E-MAIL : makino.fp@beach.ocn.ne.jp

---

牧野 FP 事務所合同会社 公式サイト : <https://www.makino-fp.com>

---

■記事内容に関してのトラブル等について当方では一切責任を負いかねます。  
ご自身の責任でご判断下さい。

---